

今こそリベラル勢力の結集を



9月28日、衆議院の冒頭解散に抗議し、1300人の市民が議員会館前に集まった。前日には「民進党が希望の党に事実上合流の見込み」との報道があり、騒然とした中での行動。「安倍政権を倒しても、次の政権が戦争法を容認し、憲法が改悪されては」と、参加者は危機感を募らせた。

国会前行動にも駆けつけていた社民党副党首・福島みずほさんは、リベラル勢力の結集をよびかける動画を配信。「希望の党は、公約に憲法改正を入れている。小池さんは秘密保護法、戦争法に賛成した国会議員だ。『アベ政治を許さない』のは、憲法改悪をめざす政権であり、秘密保護法、戦争法、共謀罪を強行採決した内閣で、自由と民主主義を踏みにじってきたから。こんな自民党に似た政党が出てきても、政治は変わらない。民主主義を踏みにじる政治はごめんだ。憲法改悪はごめんだ。そのために、皆さんに訴えたい。リベラル勢力の結集をはかりましょう」と力強くアピールしていた。



10月1日、「未来のための緊急行動・安倍政権強制終了」新しい未来を求めるデモが、新宿駅西口柏木公園からスタート。1500人が「安倍はいらない」「小池もいらない」などコールしながら歩いた。当初は文字通り安倍政権に抗議する目的だったが、来る衆院選は、リベラルを「排除」する希望の党が自民党かの二者択一のように報じられていることへの疑問が、参加者の抗議スタイルにも表れていた。雨宮処凛さんは、安倍・小池氏の顔に「同類」と書かれたプラカードを掲げ歩いていた。